

創刊によせて

このほど待望の「新長崎学研究センター紀要」が創刊されました。冒頭には特集記事として、67年間の青山武雄先生の生涯が解り易く紹介され、後半の学術論文も含め、創刊にふさわしい内容となっています。

これらの重みとそのミッションは、研究センターの目的であるグローバル人財の育成・地域創生・学術研究の推進など、建学の精神の流れに沿ったものであり、関係者の皆さまの御労苦に心から敬意を表するものです。

特に昭和期前半の激動の時代、青山先生の並々ならぬ平和と教育への思いは、人々との出会や出来事・牧会や教職の多様な経験・長崎YMCAの組織化活動等を通して醸成され、新たな学びやとして短大建学の道が備えられ、まさに“建学の精神”のルーツに触れる内容となっております。

これらは“多言語多文化グローバル人財の育成を目指す”とした「長崎外大ビジョン2030」にも引き継がれ、豊かな人間社会を築く「学生の主体的学び」に繋がる大きな基礎石になるものと確信しています。

加えて創刊号の「学術論文」は、○留学生の日本語理解 ○人材育成としての日本語と外国語教育の現状と課題 ○長崎外大における多言語性 複言語性 ○朝鮮渡航船を介した外交文書（書契）による意思疎通、加えて「研究ノート」では、○江戸時代中国船輸入書画類一覧 ○長崎市の事例から都市外交を探る、「講演録」は、フルベッキ博士の生涯と日本の近代化と国際性豊かな内容です。

さて、2013年12月1日 本校中庭に米国の人種差別撤廃に大きな功績を残したMartin Luther King, Jr.牧師の胸像が設置されました。彼がリンカーン記念堂前で演説した“私には夢がある”は世界中に拡散し、多くの人々に勇気と希望を与えました。

さらに世界に繋がる私たちは、国際連合本部の壁面に刻まれている聖書イザヤ書2章4節の言葉「彼らは剣を打ち直して鋤とし槍を打ち直して鎌とする。国は国に向かって剣を上げずもはや戦うことを学ばない」を平和を希求する思いとし、さらに豊かな学生が地域や世界で活躍する事を切に願い、創刊に寄せることと致します。

令和4年（2022）年3月31日



学校法人 長崎学院
理事 春海賢一